

## 令和 2 年度事業報告

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

### 1 概況

新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が大幅に抑制され、景気は極めて厳しい状況となりました。感染予防に向けた取り組みとして、「新しい生活様式」が取り入れられ、社会生活の基本的な動作や長年の慣行が見直され、人々の安心と安全の確保と経済活動の拡大を両立させることが求められる 1 年でありました。

このような状況の中、久喜市シルバー人材センターは「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、地域の働く意欲のある高齢者に請負や派遣による就業の場を提供することを通じて、生きがいの充実や生活の安定、また、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進してまいりました。

会員の拡大では、年度前期の入会者が前年度より 29 人少なく会員数は伸び悩みましたが、令和 3 年 1 月から 3 月にかけて埼玉県シルバー人材センター連合が実施した会員拡大キャンペーン期間中に 71 人の方が入会し会員数の減少を最小限に留めることができました。就業開拓においては、就業開拓員による新規発注者の開拓や就業機会の拡大を図りましたが、毎年行っていた役員企業の訪問は感染予防のため中止といたしました。

安全就業では、安全就業巡回指導を実施し安全意識の高揚を図りましたが、前年度を上回る 13 件（傷害事故 10 件、賠償事故 3 件）の事故が発生してしまいました。この結果を重く受け止め、「安全はすべてに優先する」の基本理念のもと、事故ゼロを目指した安全就業の徹底に努めてまいります。

適正就業では、法令を遵守した適正就業を推進するため請負・委任に馴染まない業務については発注者と協議を行い、契約継続の見直しや派遣事業に契約形態を変更することができました。

令和 2 度の事業実績は、次のとおりです。

	令和 2 年度	令和元年度	増減
会 員 数	1,127 人	1,128 人	△ 1 人
受 注 件 数	3,171 件	3,674 件	△ 503 件
就 業 延 人 員	105,025 人日	109,758 人日	△ 4,733 人日
就 業 率	77.3%	82.4%	△ 5.1%
契 約 金 額	521,764,145 円	530,891,723 円	△ 9,127,578 円

※事業実績は、請負業務と派遣業務の合計です。

## 2 事業の実施報告

### (1) 会員の確保・拡大

会員の口コミによる勧誘やチラシの新聞折り込みを実施し、会員拡大に積極的に取り組みました。

①一人一会員促進運動を組織的に展開し、入会者の勧誘に取り組みました。

(入会者 10 名)

②情報紙「よろこび」の新聞折り込みやパンフレットの全戸配布、会員拡大キャンペーンチラシのポスティングを行い、センター事業を広く市民に周知しました。

③毎月 2 回の入会説明会を開催し、会員の拡大に努めました。

(参加者 248 名、入会者 166 名、入会率 66.9%)

④夫婦会員優遇制度を推進し会員の拡大を図り、夫婦会員が 58 組 116 人となりました。

### (2) 就業機会の拡大

就業開拓員により積極的な就業機会の拡大を図るとともに、会員の就業ニーズに合わせた就業提供に取り組みました。

①就業開拓員による営業活動を実施し、就業機会の拡大に努めました。

(訪問述べ 947 件、新規企業就業契約 10 件)

②会員の就業ニーズに合わせ、就業開拓員による就業紹介に取り組みました。

③毎月 2 回、就業相談日を設け、未就業会員の解消に努めました。(相談会員 13 名)

### (3) 安全・適正就業の徹底

安心・安全なセンター事業を推進するため、就業現場への安全巡回指導や会員から安全標語を募集するなど、安全意識の高揚を図りました。適正就業にあたっては、「適正就業ガイドライン」の趣旨に沿った就業について、発注者や会員に説明し理解を求め、法令を遵守した適正就業の推進に取り組みました。

①健康管理対策として、健康診断の受診を奨励し、自主的な健康管理を推奨いたしました。

②安全適正就業委員による就業現場の巡回指導を実施し、安全就業の徹底を図りました。(実施回数 18 回、51 件)

③自転車事故防止のため久喜警察と幸手警察にご協力いただき、「正しい自転車の乗り方」講習会を実施しました。(実施回数 4 回、参加者 51 名)

④新入会員を対象とした、安全就業研修を実施しました。

(実施回数 2 回、参加者 58 名)

⑥適正就業ガイドラインに基づき派遣業務に契約の形態を変更するなど、適正就業の推進を図ることができました。

#### (4) 組織運営の強化

「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員・役職員が一丸となり組織的な事業運営に取り組み、円滑な事業運営を推進するため事務局体制の見直しを行いました。また、令和 2 年度は「中長期事業推進計画」最終年度であることから、「中長期事業計画策定委員会」を設置し次期計画の策定に取り組みました。

①理事会を毎月開催し、就業拡大や会員増強などシルバー事業を効果的に運営するための協議を行いました。

②事務局体制の維持継続のため、新規職員の募集を行いました。

③会員の就業実態、満足度、要望等を把握し、「会員の確保・拡大」「就業機会の確保・提供」の取り組みに反映させることを目的に会員アンケートを実施しました。

④今後の事業推進の指針となる「第 2 次中期事業推進計画」(令和 3 年度から令和 7 年度)を策定しました。